



日本骨髓バンクの現状（平成 25 年 2 月末現在）

	1 月	2 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,082	2,791	428,103	573,018
患者登録者数	261	209	3,056	38,050
移植例数	101	131	—	15,281

■ 2 月の年齢別ドナー登録者数（現在数）

10 代	2,879 人
20 代	71,622 人
30 代	152,564 人
40 代	160,757 人
50 代	40,281 人

■ 2 月の 20 歳未満の登録者 306 人

注) 平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■ 2 月の区分別ドナー登録者数： 献血ルーム／1,031 人、献血併行型集団登録会／1,699 人、集団登録会／0 人、
その他／61 人

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 2 月に実施された月間移植件数が 131 例に

平成 25 年 2 月に実施された移植件数が、月間の移植例数としては過去最高の 131 例となりました。これで平成 24 年度の移植件数は 2 月末現在で 1,230 例となり、3 月の移植見込を加えると昨年度の 1,272 例を大きく上回ります。ドナーの方々をはじめ、採取施設の担当医師、調整医師の先生方、コーディネーターを含む関係者の方々のご尽力に改めて感謝申し上げます。

2 今後のドナー登録会の運営について

昨年 9 月に「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」が成立・公布され、法律の施行に向けた検討を、国の審議会や関係団体による会議により行っているところです。当財団においても、将来検討会議を設置し、今後の方向性などの検討を行っています。ドナー登録会の運営については、法律においても当財団の本来業務とされているとともに、当財団の定款にも「骨髓等の提供希望者募集のための普及啓発を行うこと」と明記されており、普及啓発事業が当財団の事業の柱となっていることは変わりありません。

今後はより一層、日本赤十字社との連携を深めながら、積極的にドナー登録会を実施し、ドナーリクルートに努めます。登録会の運営方法や運営マニュアルなどの詳細については、国の審議会での議論等も踏まえ、来年度に実施する説明員研修会にて説明員の方々にお伝えする予定です。

3 「月刊 経団連」に「骨髓バンクへのご支援のお願い」を寄稿

一般社団法人 日本経済団体連合会が発行する「月刊 経団連」3 月号に、当財団の齋藤理事長が「骨髓バンクへのご支援のお願い」を寄稿しました。当財団では低所得の患者さんが経済的理由で移植を受けられない事態が生じないように「患者負担金等支援基金」を設置し、患者負担金の免除事業を実施しています。しかし、昨今の経済状況を反映して免除申請件数が増加傾向にあり、数年でこの基金が枯渇してしまう厳しい財政状況にあるため、日本経済団体連合会のご協力を得て同会加盟の 29 団体、222 社の企業に同基金積み増しのためのご寄附をお願いすることになりました。併せてドナー休暇制度の設置についてもお願いしていきます。

4 第 35 回日本造血細胞移植学会総会開催

平成 25 年 3 月 7 日(木)から 3 月 9 日(土)の 3 日間、石川県・金沢市の石川県立音楽堂等において第 35 回日本造血細胞移植学会総会が開催されました。



最終日の市民公開講座では、移植に関わった患者、ドナー、看護師、主治医のそれぞれの立場からその「思い」が語られ、最後に「骨髄移植でもらった命～移植前と移植後～」と題して元患者である浅野史郎さんが特別講演を行い同学会の幕を閉じました。

5 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は45施設です。新規認定施設については、当財団ホームページ＞患者さんへ＞移植認定病院およびドナー登録されている方へ＞面談施設一覧でもご覧いただけます。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

- | | |
|---------|------------|
| ・採取施設 | ・移植診療科 |
| 旭川赤十字病院 | 同左 血液・腫瘍内科 |

※ただし、採取については、造血幹細胞測定体制が確認できるまで保留とします。

【お詫びと訂正】

2月15日発行のMONTHLY JMDPにおいて、新たに認定された非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の記載に誤りがあり、関係者の皆さまにはご迷惑をおかけいたしました。訂正してお詫び申し上げます。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

- | | |
|-------------|-------------------------|
| ・採取施設 | ・移植診療科 |
| 新潟大学医歯学総合病院 | (誤) 同左 高度無菌治療部第一内科/小児科 |
| | (正) 同左 高密度無菌治療部血液内科/小児科 |

6 世界骨髄バンク機構 (World Marrow Donor Association : WMDA) の認定更新のためのサイトビジットについて

WMDAは、世界で行われる造血幹細胞移植に関するバンク事業が円滑に実施されるように様々な問題や課題を集約し、一定の基準作成や情報提供を行っています。この一環でWMDAでは2004年からバンク事業の認定制度を発足させ、当財団も2007年に初めて認定を受けました（現在、全世界で20のバンクが認定されています）。当財団は、今年が認定更新調査に当たるため、2月20日、21日の両日、オーストラリアと香港から調査員2名が来訪しサイトビジットが行われました。その結果、主に以下のコメントがありました。

- ・品質管理システム (Quality Management System) の確立
- ・感染症に関する検査項目と検査タイミングの追加について
- ・コーディネート期間の短縮について
- ・ドナーへの「最終同意は撤回できない」とする説明の再検討について

なお、今後はWMDA認定委員会で認定更新可否の最終判定がなされる予定です。

7 Vリーグ・プレミアリーグ・ファイナルラウンドで骨髄バンクをPR

例年Vリーグ機構にはご支援をいただいておりますが、その支援の一環としてプレミアリーグ・チャレンジリーグの全試合会場で骨髄バンクのパンフレットやシール等を配布しています。「2012/13 V・プレミアリーグ・ファイナルラウンド」は4月13日(土)に女子プレミアリーグ、4月14日(日)に男子プレミアリーグのファイナル(優勝決定戦、3位決定戦)が東京体育館で開催されます。試合の様子はNHK BS1において放映される予定です。

8 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に当財団事務局総務部までお申込みください。

	公開・非公開	開催予定	
通常理事会	公開・一部非公開	3月21日(木) 17:30～	廣瀬第1ビル2階会議室
将来検討会議	公開	3月22日(金) 18:00～	廣瀬第1ビル2階会議室
医療委員会	公開・一部非公開	3月23日(土) 14:00～	廣瀬第2ビル地下会議室

【お詫びと訂正】

2月15日発行のMONTHLY JMDPの資料2「提供希望者都道府県別登録者数」の「登録対象年齢人口における登録者数」において、長崎県の「対象人口千人当りにおける登録者(人)」の数値に誤りがありましたので下記のように訂正いたします。関係者の方々にご迷惑をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。

(誤)長崎県の対象人口千人当りにおける登録者(人)の数値 =14.47

(正)同上 =9.77

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

9 第13回コーディネーター養成研修会研修生の認定・委嘱について

コーディネーターが不足していた北海道、東北、中部、九州の4地区で、昨年8月よりコーディネーター養成研修会を実施しました。

本年1月までの研修を経て、2月1日の「コーディネーター委嘱審査会議」において26名の認



定・委嘱が決定しました。研修期間中の調整医師・採取施設の先生方およびコーディネーターの皆さまのご指導にあらためて御礼申し上げます。4月より順次活動を開始しますので、今後とも引き続きご指導いただきますようお願い申し上げます。

10 「地区代表協力医師会議」 & 「骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会」開催報告

第 35 回日本造血細胞移植学会総会（平成 25 年 3 月 7 日～9 日）の会期中に標記会議を開催しました。3 月 8 日の「地区代表協力医師会議」には、齋藤理事長、小寺副理事長、加藤理事、18 名の地区代表協力医師の先生方にご出席いただき、骨髄バンクの現状をはじめ、安全委員会報告やドナー適格性判定に関する相談例、ドナーフォローアップについての報告、その他意見交換を行いました。

3 月 9 日の早朝には「骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会」が開催されました。調整医師の先生方、コーディネーター、関係者など約 350 名の参加を得て、小寺副理事長が「『移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律』と関係組織の関わりについて」と題して講演を行いました。また当財団はバンク事業について各委員会の委員長と事務局から報告を行いました。さい帯血バンクからはバンクの実情や事業評価委員会の報告が行われました。

欠席された調整医師・採取責任医師、連絡責任医師の方々には資料を同封しています。欠席されたコーディネーターの方々には後日、ブラッシュアップ研修会資料とともにお送りします。

11 第18回コーディネーターブラッシュアップ研修会報告

3 月 9 日、10 日に金沢市で第 35 回日本造血細胞移植学会総会に併せて「第 18 回コーディネーターブラッシュアップ研修会」が開催され、全国からコーディネーター111 名、コーディネーションスタッフ 12 名、地区事務局・中央事務局職員等 40 名が参加しました。HLA 研究所・佐治博夫先生による HLA についての講義や「コーディネートの基本 報連相について」をテーマとしたグループ討議の他、学会プログラムや公開市民講座へ参加することで、造血幹細胞移植に関わるチームの一員としての認識を新たにし、2 日間のプログラムを終えました。

12 委嘱状発行（更新）のお知らせ＜調整医師の方へ＞

本年 1 月に平成 25 年度の調整医師委嘱に関する書類をお送りしました。先生方には、ご多忙にもかかわらず書類をご返送いただきありがとうございました。3 月下旬より、当財団の事務作業が完了次第順次、先生方に委嘱状をお送りします。今後とも骨髄バンク事業へのご協力の程よろしく願います。